



2022年7月29日

各位

会社名 新光電気工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 倉嶋 進
コード番号 6967 東証プライム市場
問合せ先 経営企画室長 清野 貴博
Tel (026) 283-1000 (代)

当社の親会社 富士通株式会社
代表者名 代表取締役社長 時田 隆仁
コード番号 6702 東証プライム市場

業績予想の修正に関するお知らせ

業績予想の修正につき、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2022年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2022年4月28日発表)	152,000	40,000	40,000	28,000	207.27
今回修正予想 (B)	159,000	49,000	53,000	37,000	273.89
増減額 (B-A)	7,000	9,000	13,000	9,000	—
増減率 (%)	4.6	22.5	32.5	32.1	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	125,922	30,067	31,559	21,710	160.71

2. 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2022年4月28日発表)	317,000	85,000	85,000	59,000	436.75
今回修正予想 (B)	322,000	93,000	97,000	67,000	495.97
増減額 (B-A)	5,000	8,000	12,000	8,000	—
増減率 (%)	1.6	9.4	14.1	13.6	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	271,949	71,394	75,820	52,628	389.58

3. 修正の理由

2023年3月期第1四半期連結累計期間の当社業績は、パソコン向けなどにフリップチップタイプパッケージの需要が増加するとともに、プラスチックBGA基板は先端メモリー向けに売上が拡大しました。また、為替相場が想定より大幅に円安で推移したことなどから、第2四半期連結累計期間の業績予想に対し、特に利益面において想定を上回って進捗しております。

第2四半期以降につきましては、中国経済の減速や世界的なインフレ、長期化するロシア・ウクライナ紛争の影響などにより、景気の先行き不透明感が強まることが予想され、半導体市場は、パソコンおよびスマートフォンなどの需要減退に伴う在庫調整等が想定されます。

このような状況下にあつて、当社グループにおきましては、フリップチップタイプパッケージはパソコン向け等の需要が減少するとともに、リードフレームは在庫調整の影響を受け、また、IC組立はハイエンドスマートフォン向けの需要減退などが見込まれる一方で、為替相場の動向をふまえ、第2四半期以降の想定レートを1米ドル=118円から125円に見直したことによる影響を見込み、2022年4月28日に発表いたしました2023年3月期第2四半期連結累計期間および通期の業績予想数値を修正いたします。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上